

兄弟姉妹の皆様

私たちのローマのパパ様・フランシスコ教皇様は今回のシノドスにおいて、「第2バチカン公会議を見直し、立ち戻り、生かしてほしい」とメッセージをくださいました。

2022年待降節から、ミサの式次第が新しくなりました。これも、その新しい流れの一つです。

今回はサンパウロ発行「第2バチカン公会議 公文書全集 南山大学監修「第1章 典礼の刷新と促進のための一般原則」の「II 典礼教育と行動的参加の推進」の「司牧と典礼教育」について解説します。私たちも、ミサや祈りに主体的に関われるように、一緒に学びましょう。

尚、わかりやすい表現を用いるため、多くの資料を参考にさせていただいておりますことをはじめにお伝えしておきます。

主任司祭 ペトルス・ウィリー・ソバ・ドイ O.C.D.

II 典礼教育と行動的参加の推進

典礼憲章 ⑤

教会は、すべての信者が【典礼】を行う時、それが充実した、意識的、行動的な参加であることを心から望んでいます。

イエス様を信じる私たちは、洗礼によって、【典礼】に対する「権利」と「義務」を持っています。

(参照：ペトロの第一の手紙 2.4~5、2.9)

「主は人に捨てられましたが、神によって選ばれた尊い生きた石です。この主に近づいて、あなたがたもまた、生きた石として、霊に満たされた家に築きあげられます。それは聖なる祭司となり、イエス・キリストを通して、神に受け入れられる、霊に生かされたいけにえをささげるためです」

「あなたがたは選ばれた民族、王室、祭司団、聖なる国民、そして神のものとなった民であります。それは、暗闇の中からあなたがたを驚くべき光に招き入れてくださったかたの、すばらしいみ業を、あなたがたが告げ知らせるためなのです。」

聖なる【典礼】の刷新と促進に当たり、信徒の充実した【典礼】、ミサへの行動的な参加は司牧者にとって最も心に留めるべきことです。なぜならそれは、信者が真のキリスト教精神をくみ取るために欠くことのできない第一の泉だからです。

ですから、司牧者は全司牧活動において、信徒の【典礼】への具体的な参加について熱心に追い求めなくてはなりません。そのためには先ず司牧者が【典礼】の精神と力をしっかり身につけ指導しなければ、この目標を達成することは出来ません。

(つづく)